

第 236 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2011 年 6 月 24 日(金) 18 時 00 分~19 時 30 分

場 所: 創立 30 周年記念棟大会議室「常念岳」

演 者: 北村 豊 氏 (信州口腔外科インプラントセンター所長)

タイトル: インプラントに必要な基礎知識ー口腔外科的な立場からー

デンタルインプラントは、過去には夢の治療法として世の歯科医、患者さんを含めて受け入れられていたが、当時はこの新しい治療の知名度も低かったこともあり、本法は多くの患者さんの咀嚼機能改善等に貢献したわけではなかった。

しかし、現在は世界中の多くの国で一般化しつつある。それにより多くの人々がプラスの恩恵を受けている事実がある。しかし他方では、インプラントをめぐる様々なトラブルがあり、歯科医師、患者さんの両者にとって悩みの種となっている。

インプラントの科学が近年になり大きく発展し、EBM に基づいたインプラントの施術等も可能な時代に入ったが、時代は移ってもデンタルインプラントを種(たね)とするならその「種」を播くのはいつの時代も歯科医であることには変化はない。

「種」そのものは、過去とは大きく変化し、発芽率の高い優良なハイブリッドタイプの品種が歯科医の人間性や、技術にかかわりなく容易に入手可能な時代になってしまったことにも大きな問題を包含していると思われる。

作物の「種」も植え付ける土壌の深土、性質、覆土の厚み、メンテナンスなどによって成長度、病気の発生率、収量にも大きな差がでてくる。

インプラントが今後多くの国民に受け入れられ、それにより恩恵を受ける人々が多くなるためにはハイリスクハイリターンを避け、その時代に見合ったスタンダードな医療を提供していくことが必要である。そのためには、卒後に業者主導の研修会で知識を得る以前に、学生時代の刷り込みがなされていない白紙の状態の時にスタンダードな知識を習得することが大変重要で意義があることと考える。

今回は、主として口腔外科にターゲットを絞ってインプラントを実施するにあたって是非知っておいて頂きたい基礎的な知識を中心に講演する予定である。